

【件名】新たな公共交通サービスの導入について

公共交通ネットワークの充実に向けた取組として進めている新たな公共交通サービスの導入に関して、令和5年度実証運行の検証及び評価を行うとともに、今後の取り組みについて、中野区交通政策推進協議会における関係者協議を踏まえ取りまとめたので、以下のとおり報告する。

1 経緯

令和5年	9月19日	令和5年度実証運行開始
	11月	令和5年度実証運行の中間評価
令和6年	2月	中野区交通政策推進協議会において関係者協議 実証運行の継続を決定
	3月31日	令和5年度実証運行終了
	4月1日	令和6年度実証運行開始

2 令和5年度実証運行の検証及び評価

別紙のとおり

3 今後の取り組み

- (1) より一層の収支率向上に向けた運行時間帯、便数、停留所等について継続的に検討
- (2) 車内に乗降センサーを設置（Web地図上に走行位置と混雑情報を表示し利用者に提供）

4 今後のスケジュール

令和6年	7月29日～	利用者アンケート・OD調査（1回目）
	9月頃	地域住民アンケート
	10月頃	令和6年度実証運行の中間評価
	12月頃	利用者アンケート・OD調査（2回目）
令和7年	3月31日	令和6年度実証運行終了
令和7年度		令和6年度実証運行結果の分析・検証

1 運行計画・実績

運行期間 令和5年9月19日～令和6年3月31日
 始発／終発 8:45／17:55(01白鷺せせらぎ公園発)
 本数 全日11便(K05系統:5便 K06系統:6便)
 運賃 大人200円、小児100円
 高齢者割引証(70歳以上)の提示で100円引き



令和5年度の合計利用者数
 平日 :5,327人(3.8人/便)
 土休日 :2,582人(3.8人/便)
 合計 :7,909人(3.8人/便)

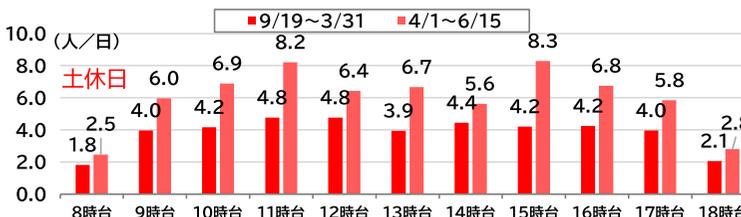
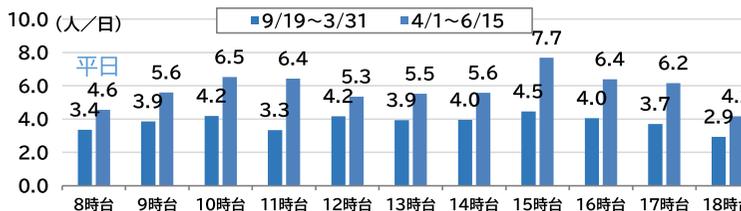
参考 令和6年度(4/1～6/15)
 平日 :3,324人(5.8人/便)
 土休日 :1,581人(6.0人/便)
 合計 :4,905人(5.9人/便)

【短期的取組の実施状況(令和6年度実施を含む)】
 ・車内や停留所等に利用啓発ポスターの掲示
 ・高円寺通り停留所の両側での乗降利用開始
 ・令和6年9月末までの期間限定で、65～69歳を対象とした高齢者割引証の発行

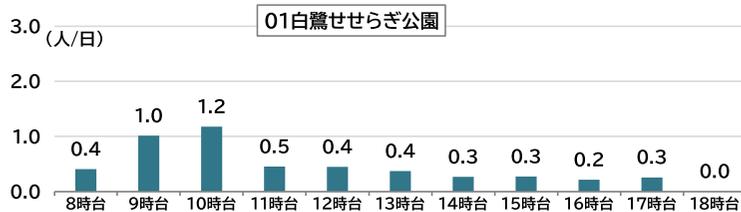
2 実証運行の検証

運行時間帯・便数・停留所位置

■時間帯別の平均利用者数



■停留所別・時間帯別の平均利用者数[9/19～3/31]



令和5年度(9/19～3/31)

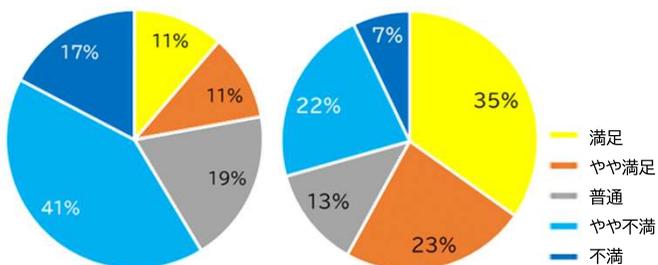
土休日の8時台と18時台の利用者は少ないが、それ以外はこの時間帯も利用されており、顕著な利用傾向は見られない

参考：
 令和6年4月以降、他の時間帯に比べ11時台・15時台の利用が増加している

- ・01白鷺せせらぎ公園(高円寺駅方面)の利用は午前中が多い
- ・08高円寺駅北口(白鷺せせらぎ公園方面)は昼以降の利用が多い

■各満足度調査結果(利用者アンケート)

運行時間帯の満足度 (n=167) 停留所位置の満足度 (n=167)



運行時間帯

- ・不満・やや不満が半数以上
- ・自由意見では、早期や夜の時間帯への要望

停留所位置

- ・満足・やや満足が半数以上
- ・自由意見では「洗心寮跡の対面停留所が欲しい」等、片側のみの停留所への要望

その他(便数)

- ・自由意見では「運行本数を増やしてほしい」「30分に1便にしてほしい」という意見

○運行時間帯

時間帯により利用方向が異なることが分かった。一方で、利用者アンケートでは利用者の満足度は高くないことから、利用状況や収支状況等を注視しながら検討する必要がある。

○運行便数

1便あたりの平均利用者数をさらに増加させるための取り組みを進め、その上で運行便数について検討する必要がある。

○停留所位置

利用者アンケートでは3割程度の不満が見られ、片側ではなく両側での停留所設置を求める声がある。時間帯によって利用方向が異なることを踏まえ、利用に合わせた停留所の設置を継続して検討する必要がある。

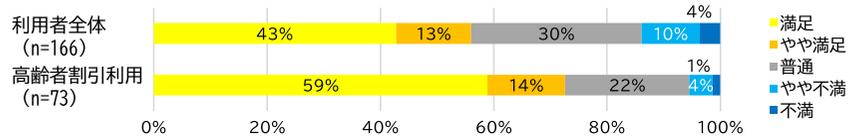
運賃・割引

■高齢者割引証発行状況

令和5年度中の発行は475枚で、対象地域内70歳以上人口6,041人に対する割合は7.9%

対象地域内70歳以上人口6,041人の出典：中野区統計書2024(令和6年1月1日現在)

■利用者アンケート結果(運賃の満足度)



■月別の高齢者割引利用者数

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
134人	373人	363人	298人	375人	508人	609人

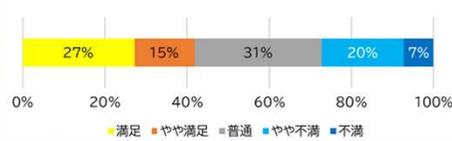
○運賃

不満割合は低く、利用者の理解を得られる金額設定だと考えられる。

○割引

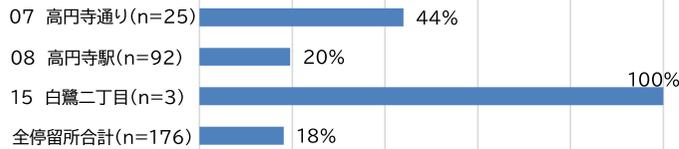
高齢者割引利用は利用者全体と比べて満足度は高くなっている。
令和4年度よりも不満割合が減っており、割引による利用者は着実に増えている。

【参考】令和4年度利用者アンケート(令和5年3月実施)



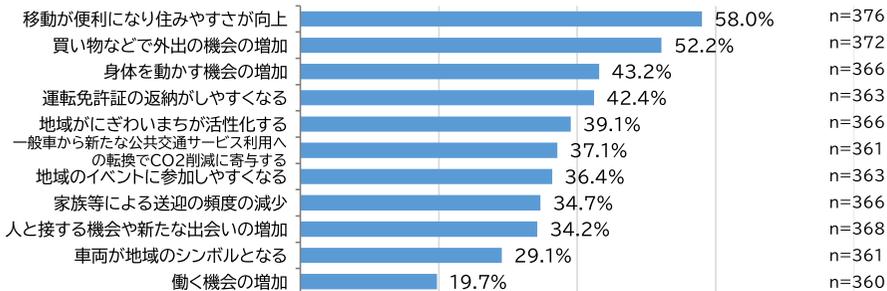
運行に伴う効果

■各停留所の路線バスへの乗り換え割合(利用者アンケート)



回答者の2割程度が路線バスとの組み合わせで利用したと回答しており、ラストワンマイルとしての効果を一定程度確認できた

■実証運行に関する主な効果(地域住民アンケート) ※思う・やや思うと回答した人の割合(無回答を除く)

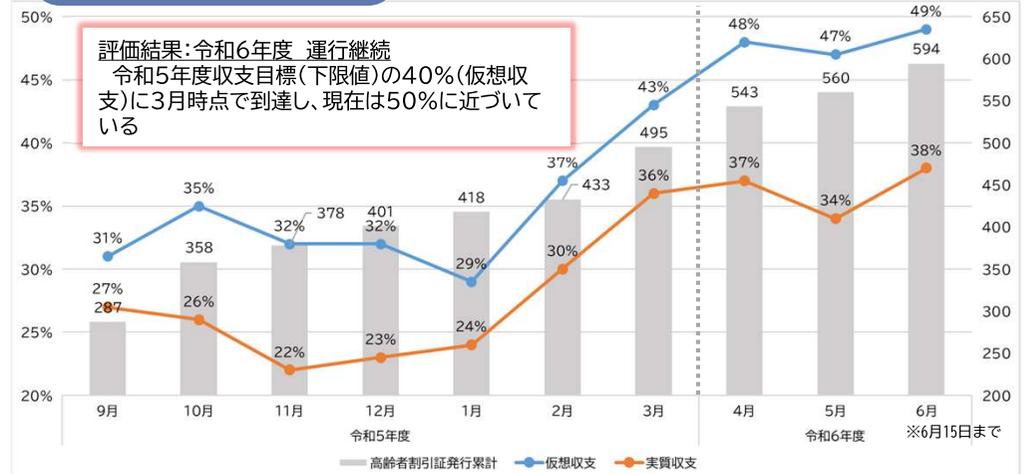


「移動が便利になり住みやすさが向上」「買い物などで外出の機会の増加」といったものの回答が多い

安全性

令和5年度の事故事件は、若宮二丁目の道路上で、運行車両側面と道路標識とが接触した1件。事故再発防止のため、関東バス社内に安全教育の徹底、交通管理者との情報共有を実施。

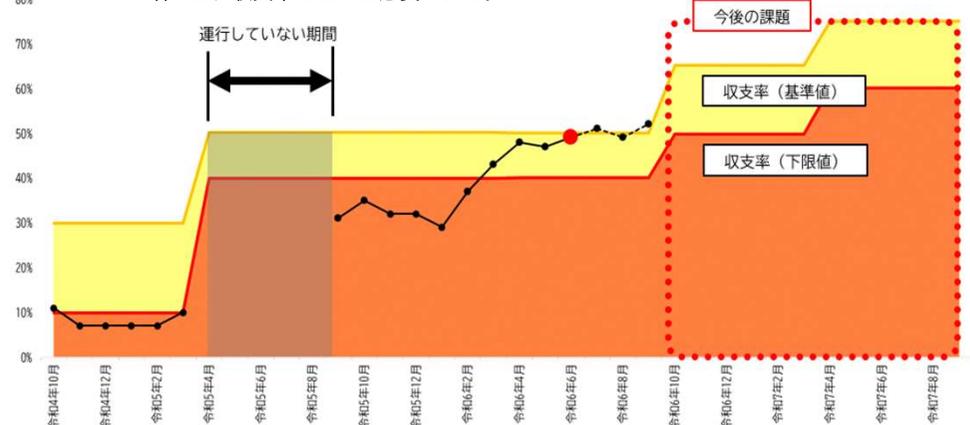
3 実証運行の評価



4 課題

収支率

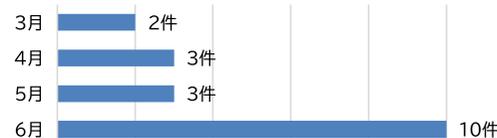
定着には3年程度要すると想定し、令和7年9月までの収支率の目標を立てて実証運行を行っている。そのため、実証運行3年目に向けて、さらに利用者を増やし、収支率を上げる必要がある。



- 時間帯によって利用方向は変化し、常時満員は困難
- 車両定員を考えると、目指せる利用者数・収支率には限界がある
- 利用者の現行運賃に対する満足度は高く、値上げは難しい【現状で収支均衡に必要な運賃は約450円】

満員通過

■月別の乗り残し発生件数[6/15まで]



午前中は、洗心寮跡や大和区民活動センターで、夕方は高円寺駅で乗り残しが発生

乗り控えや利用者離れの懸念があり、乗り残し防止が喫緊の課題